

機械・精密システム工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	Design and Dynamics Conference 2017 (日本機械学会)
演題名	フレーム構造の共振応答への高剛性拘束層を有する粘弾性制振デバイスの効果
発表者	○山口 誉夫, モハメド シャフィック, 丸山 真一, 小木津 武樹, 黒沢 良夫
内容	本論文では、骨格共振を制振するために、箱断面を有する高剛性拘束層とフレーム部材で部分的に粘弾性ゲルをサンドイッチし拘束型粘弾性制振デバイスを提案する。提案する制振デバイスを、両端固定L字アングル材フレームとL字アングル材フレームを直方体の外形に組んだ骨組み構造に用いた。モード歪みエネルギー法と有限要素法による数値計算を行い、制振効果を調べた。